

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映アンケート集計結果からも家族とスタッフ間における意見交換の場が少ない現状が明らかになった。一方的な情報の告知だけにとどまらず家族との情報交換の機会をより多く設けていく必要がある	○家族から「より情報交換の場が増えた」「利用者のそのときどきの状況がより分かるようになった」という意見を聞くことができる	○定期的に来訪指定いただけるご家族以外にも利用者様の近況をお知らせできる媒体(施設新聞等)の作成を行う。 ○家族会の設立 ○行事開催の内容や時期についてご家族に事前にアンケートを取り、要望を反映させる	6ヶ月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援家族等に対し「看取り」に対する事前の説明が不十分であるとの指摘を受けた。 看取りに関する方向性を家族・スタッフが事前に共有できる方策を検討していく必要がある	○家族から「事前に看取りについての説明を受けることができた。また「家族の考え方を確認してもらった」という意見を聞くことができる	○重要説明の中で看取りケアを実施することが可能である行うことができる旨の文言を付け加える ○入所時に終末期・重篤化に至った場合における当施設でできること、できないことを具体的に説明し理解していただく。 ○入所時に終末期・重篤化に至った場合における家族の考え方、要望を確認する。 ○終末期・重篤化に至った場合の対応、ケアについて定期的な勉強会を行うと共にマニュアル作成を行う。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。